

★現地引率者

・へきなん保育園 先生 ・新宿せいが保育園 先生

★現地研修コーディネーター・通訳

・くるみの木教育研究所 先生

★全体スケジュール

11月5日～6日 移動日

11月7日 午前：小学校視察研修 午後：ケストヘイ散策他

11月8日 午前：保育園視察研修 午後：小学校の子ども達とワークショップ

11月9日 市内散策、ブタペストへ移動

11月10日 午前：乳児保育園視察研修 午後：市内観光

11月11日 午前：乳児保育園視察研修 午後：自由行動

11月12日～13日 移動日

【研修2日目】

『人生の樹小学校』…授業見学（1年生算数）

・《芸術》に力を入れている小学校。学校教育：1年間は9月1日～6月15日まで。その間にも秋休み、冬休み（Xmas～新年で1週間半～2週間）、春休み（1週間）、夏休み（6月16日～8月末）。義務教育は保育園。年長の学年は必ず行かなくてはならない。小学校は8年でいろいろな専門の学校に行く。今回の学校は《芸術（音楽）》が専門。興味がある、能力がある所の学校に行く。1997年開校（8年生：各定員12人）定員100名で現在62名。全員が何かの楽器（クラリネット、フルート、サクソフォン、バイオリン、ピアノが学べる。楽器は借りられる）をする。年度の途中（月ごと）に成績をもらい、半年ごとに文章での成績もある。卒業生はほとんどが高校に通う。

[質疑応答]

Q,学校に入る（楽器をする）為の希望は親なのか子どもなのか？

A,親が決める

Q,プレスクールはあるか？

A,ない

Q,小学校での寮はあるか？

A,ほとんどない。スポーツに関してはあるかもしれない。高校は多い。

Q,途中で辞めたいとなった時に（学業的に）不利にならないか？

A,基本学業のレベルは同じ。

Q,芸術の他にどのような物があるか？

A,芸術（絵、踊り、人形劇）、体育系、数（数学）、言葉（外国語）など。学校内でも分かれている所もある。

Q,辞めたい子、辞める子はどれくらいいるか？

A,辞めたいという理由は少ないが、辞めるなら経済的。入ってくる子の方が多い。

[授業見学]

算数の授業で、ホワイトボード、子ども達の机の他にじゅうたんが敷いてあるスペースがある。日本のように終始机に向かって話を聞くのではなく、じゅうたんで輪になって歌や手あそびを入れながら数を知る。それからみんなでホワイトボードに数字を書いたり、自分の机で数字カードを使って並べたりす

る。ぬりえのような教材や、3人組になりパズルのようにして計算しながら絵を完成させる方法もある。一方的に話を聞き答える事はほとんどなく、自分で考え、みんなで意見を言うというやり方だった。

[見学後授業担任からの話]

やらなくてはいけない課題は決まっている。守らなければいけない事は守りながらも、クリエイティブに行っている。人数が少ないので一人一人にあわせて援助ができる。担任は保育士の免許も持っていて、経験もあるので小学校に入る為の成熟度もわかっている。知的な面では運動、観察、言語。社会性では先生に注目したり、仲間に関心を持つ、コミュニケーションを大切にする。情緒面では自己像がどのように育っているか(劇ごっこ、影遊びをしている)。3つの領域が保育園でしっかりしていれば小学校でも記憶力に働き掛ける事が出来る。先生側からの知識として、一人一人をしっかり把握し、どのように援助できるか。物を使いながら行う(勉強する)事が特徴(低学年から)。一つの物をいろいろな角度から教える。子どものアイデンティティを育てるのに、ハンガリーの物を使う(ぬりえをするにも伝統的な物を)。ハンガリーのルーツをしっかり知っておくことが大事。数を教えるだけの勉強ではなくぬりえや体を使って『楽しい』と感じられるようすすめる。

[質疑応答]

Q,各教科で遅れのある子への対応は?

A,補修授業はあるがそれでもダメなら教育指導場で援助してもらおう(親が連れていく)。

Q,障害児対応は?

A,入れる基準があり、入った子を支援する。障害にはいろいろあるが他の子も一人一人にそれぞれ問題がある。家族がそれぞれ个性的になっているので子どももそのようになっている。家族を良く知る事でその子への対応もできていく。

Q,楽しみながらの授業はとても良いと感じた。

A,1年生では目で見えない物を想像しながらは難しい。それを小学校では学んでいく所。

Q,1年生でBESTな構成は?社会性を育てる為には?

A,15人くらいが理想。設備的に隣のクラスとドアで仕切っているので休憩時間は開けて交流している。

【研修3日目】

『人生の樹幼児保育園』…保育見学

・たてわり:25人~27人(2人担任、1人補助)

3歳~7歳までの混合。朝ごはんは食べてこないで園で8:30~9:00の間に部屋にセットしてあるおやつを自分でとって食べる。他の子は遊んでいる。ケストヘイ、ヘーヴィスは観光地なのでホテルで働く人が多く、保育園は朝6時~開いている。8時間労働に合わせて、朝早い子は早く帰る。遅くても17時か17時半にはみんな帰る。

課題は[わらべうた]。自由遊びをしている中で音楽が始めるようなきっかけを保育士が作る。子ども達が集まってきたら自由に歌を作るようにする。また再び遊びに戻るような働きかけもする。活動は年長児が始めそれを見て下の子も次々始める。《結婚式遊び》…円になって先生と同じリズムを繰り返す。歌に合わせてグループを作ったりかごめかごめのような遊びをする。全体の活動が終わり自由に遊んでいいと話すが続けてやる子もいる。11月の発表会で見せるもの。

[保育士の話]

子どもが自由に遊べるよう、また遊びが楽しく広がり、発展できるよう手助けをする事を大切にしている。子ども達の遊びの中で『ルールを守る事』を厳しく言っている。遊びの場を広げたい時、作っている所に入りたい時、おもちゃを借りたい時、等必ず声をかける事。

[施設見学後の話]

ハンガリーの課題:21世紀をどう生きていくか。家ではパソコンやゲームがある環境から園に入ってく

る。園では文化を大切にしたいと思っている。見た目だけでなく、ことばも意識して伝統を伝えていく。今年は《コミュニケーション》を課題にしている。活動の中で沢山のコミュニケーションが経験できるようにしている。今の社会では人格のない事が多くなっているのでコミュニケーションを大切にする事を決めた。わらべうたの時、かごめかごめのような遊びで1人ペアになれない子がいた。ハーフの子でなかなか心を開けない。音楽を通して繋がれるようにしたい。

[他クラスの様子]

○とうもろこしを使ったクラス（伝統）

26人（男17人、女9人）（年長7人、年中11人、年少8人、小学生7人）

とうもろこしは動物のえさだけど人間も食べられるもの。昔はすべての家で家畜をしていた。収穫が終わると夜の仕事がなくなるので糸紡ぎ、鳥の羽根とり、とうもろこしの皮むきなどを家でやっていた。皮ではカゴや足ふきを作り、芯は火付けとして使っていた。皮では人形も作り、それがXmasプレゼントになる。単発な活動ではない。また子どもだけに伝えるのではなく、親や祖父母にも来てもらい伝えていきたい。

○わらべうた（26人）

役割遊びが大切。その為の環境作りも大事。子どもからの遊びが発展できるようにアイデアを出す。トラブルがあっても遊びを通して解決できる繋がりを作る事もできる。

[午後]

『人生の樹小学校』にてワークショップを体験する。廊下にはいろいろな物（絵本、ぬりえ、おもちゃ、手作りカップ、手作りクッキーなど）があり、それを子どもたちが販売する。また隣の部屋ではクッキーに飾り付けをする、羊毛を使って小さな玉を作るコーナーがあり、先生や子供たちと一緒に体験できた。

【研修5日目】

『マイバ幼児保育園』…保育見学

5クラス。以前は郊外とされていたが団地が増えてきて、待機児童も多く拡大の計画もある。現在は24～25人（障害児によって変わる）だが30人クラスなどで対応するかもしれない。

《ひまわりクラス》①流れる日課…発達に合わせた、一斉保育ではない。②異年齢保育…年齢別クラスでも一人一人の差はある。その子がどのくらいの発達かをよく見る必要がある。子ども達同士から学び合う事が可能。※6歳児で小学校に上がらない子が同じ環境、同じ先生と続けて過ごせる。③遊びの中に組み合わせる…子どもにとって一番大切なのは『あそび』である。保育士の役割として遊びの中で学習行為を作っていく。参加は自由だが年長児は参加するよう働きかける。④発達障害も受け入れる…自閉症、言語、問題行動、まだわからない子も入所している。子どもたちは（障害）という風には思っていないが、できない所が少しずつできるようになっていくと言う目で見ていく。保護者にも初めから話すので理解を得ている。

[課題：素材（木）]遊びながらけん玉の素材を聞く。興味のある子はテーブルに集まってくる。事前に各家庭から持ってきてもらった物（紙で包んである）を一つずつ出してみている。何の素材か、どのよう使うか、感触を確かめるなど。紙で包んであるのにながら出てくるかと言う楽しみもある。出した際持ってきた子を確認し、家でどのように使っているか、誰のものか等も聞く。みんなで見たものを今日1日遊んで明日持って帰ると言う話をしながら紙と一緒に片づける。その後は先生が準備したおがくず、小麦、木くずなどに触れたり、沢山の工具を見て実際に使ってみる。のこぎりで木を切り、金づち、釘で組み立てるなど。

[先生方からの話]

○環境を中心に考えている。すずらん組（動物）、チュール組（体：特に手）、ひまわり組（木）。3～5週間かける。その中で1週間ずつ担任が考える。テーマを始める時は保護者に伝え、持ってきてほしいもの等話もする。子どもがより関心を持てるように[家から持ってきてもらう]。その方が興味を持つ。日常生活のテンポが速くなってきていて、親子で意味のある会話が少なくなっている。そこで一緒に考えながら探してもらい会話ができる機会にもなる。

[素材(木)]…始める前の週に親に伝える。言葉おたよりの他にEメールでも伝える(工作をするので釘、道具、木などを持ってきてください)。親子で木の物を探して会話をし、紙に包んで持ってきてくださいとお願いする。活動の週から散歩、話、沢山の木に触れるなど進める。何かを知る為には行為をしながら、五感を使って行う事が大切。答えを求める為の学習ではなく、経験して知る事を大事にしている。体験したことは意識していないが、記憶として残り、成長する。

【研修6日目】

『マイバ乳児保育園』…保育見学

0～3歳(親が仕事をしている)。健康、精神、情緒の他に伝統的(差別なく)、貧しい家庭の子もいる。そこから遅れないよう配慮する事も大切。事情があれば家に親がいても預かる事もある。障害、手助けの必要な子…早めに関わった方がよいので受け入れ、気付けるようにしている。社会に適応できるよう。0歳児クラスがあるのはマイバ乳児園がある14区(11園)のうち2園。

《基本原則》

- ①家庭の尊重…伝統等。その家庭にかけている所を補助していくことは、良く知る事が大切。
- ②子どもの人格を尊重
- ③教育と育児の一致…育児とは食事、排泄。言葉でルールを伝えることは育児の中の教育。
- ④個人的な接し方の原則…安心、安全を保障され、保育士に愛されているという保障。一人一人が違う。
個人的な接し方：例、豚肉を食べない習慣の子には対応する。
- ⑤安心と安定の生活…習慣を身につける。持ち上がり、3年間同じ部屋で過ごす(部屋は変わらないが発達が変わるので玩具などは変える)。安定した日課(毎日同じように繰り返される)によって見通しができる。年齢に合わせて変わる。天候の良い日はなるべく園庭で過ごす。年齢に合わせて食事の時間が変わる。
※園庭…体を鍛える。ビタミンDを得る(太陽に当たる)。運動の保障(室内ではできない遊び)。
※慣らし保育がとても重要…入ってくる年齢によって親へのこだわりが変わってくる。ほとんどが2週間くらい(早い人もいる)。1日目：親と一緒に1時間 2日目：親と一緒に2時間 3日目：親と過ごす(食事、排泄) 4、5日目：親が少しの間離れ、また戻ってくる。次の週から離れる時間を延ばし戻ってくる。昼食、午睡は廊下で待ってもらい、泣いたらすぐに対応できるようにしてもらう。
- ⑥活発性…能動的に動けるように。人的、物的の他に時間的保障。子どもからの話しかけをしっかりと聞く。保育士は子どものモデル!
- ⑦一致した教育の原則…2クラスで4人担任(プラス助手1人)。1クラス2人の保育士が道徳的保育目的を同じにする事が大切。

《乳児保育園で必ず守らなければならない事》

- ・すべての園に給食室(アレルギー対応など)
- ・雰囲気があたたかい物(親との別れは子どもにとってはすごいものである)。
- ・社会性…信頼感、ルール(どんな子どもでも噛んではいけないなど)、守らなければいけない物を伝える事で社会性が育っていく。

○親との関係…保護者会、クラス会(テーマを設けて集まる)

⇒慣らし保育をやってみて、就学に向けて、乱暴な子に対して(専門家を

呼んで) など

最近は開放的になって、祝日には親も一緒にイベントを楽しむようになってきた。昔は衛生面から保育室に入る事は出来なかった。入所前に家庭訪問をする。「家に来てくれた」と喜んでくれる(親子で)。事前に経済的な面を見に行くのではない事をしっかり伝えておく。どのような環境、子どもの位置を知る為。どんな援助が必要かを知る為。受けたくない人は受けない。

[質疑応答]

Q, 噛みつきはあるか? どんな対応?

A, 多くはないがたまにある。何が原因かを知る為にその子を知る。

Q, 看護師はいるか? (安全の保障)

A, 園医が1日1時間いる。昔は保育士になる過程である程度の勉強(医療)をしていたのでそれで対応していたが今は専門学校になり変わった。園医には発達の、予防接種、アレルギーなどいろいろな面で見てもらう。

Q, 慣らし保育の親の補償は?

A, 4月から入るなら3月中旬から来てもらう。園としては1カ月~1カ月半くらいかかると思った方が良い。

Q, 感染症についての対応は?

A, 感染症だけでなく普通の風邪でも登園許可証が必要。

Q, 園での発熱の対応は?

A, 保護者の迎えは38度。園医がいれば受診して処方してもらえる。

Q, 0歳児を預ける理由は?

A, 医者の子。(自分の仕事休みの保障は6カ月だけ)

[クラス分け]

- ・もも…<13~19カ月>3~4人。
- ・もも…<3歳児>11人。(2歳児クラス: 31~38カ月)
- ・わすれな草…<3歳児>
- ・わすれな草…<2~3歳児>早くから入所している子。11人。

[わすれな草の見学]

- ・外遊びから一人ずつ入れ、衣服の着脱を1対1で見る。子どもが自分でやるのを待つ。子どもが遊んでいないコーナーも次の子の為に用意しておく。
- ・排泄は1人ずつ1回ずつ便器、ベッドを消毒。一つずつの行動の意味(手洗いは蛇口が二つ[冷水、温水]あるのでまず冷水からひねってから温水をひねる。止める時は温水から。: 火傷防止)を伝えていく。排泄後は手洗い、洗顔、鏡を見てくしで髪をとき、身だしなみを整える。ほとんどの子が紙おむつ。パンツ式ではない。まだ不器用なのでわざわざさせない。パンツに移行する前くらいからパンツ式にする。

[研修に参加して]

今回の研修では、保育園だけでなく小学校の様子も見る事ができました。まずは小学校からの見学でしたが、その基盤となるのが保育園というつながりを感じられました。保育内容でも日本との違いを感じる所は沢山ありましたが、保育の保障の違いに一番驚きました。また保護者、保育士との信頼関係の深さも感じました。いろいろな場面で今後の保育に活かしていきたい事もあり、とてもよい経験となりました。その地域の伝統や習慣を引き継ぐ、自分達の環境(国、地域等)を知り、活動に取り入れる保育も素敵でした。初めて海外の保育を見る機会となり本当に勉強になりました。また違った国の保育も見てみたいと思いました。